



男女共同参画広報紙
じょうそう

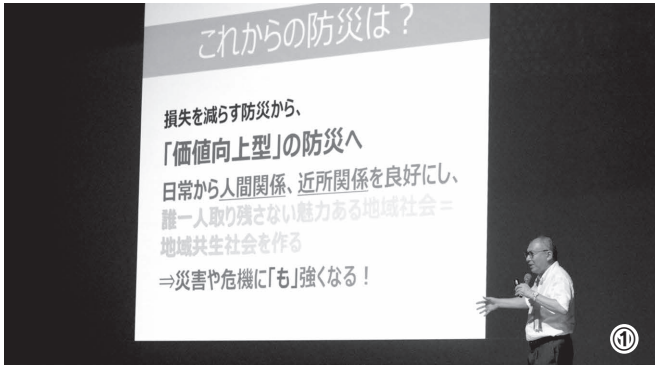
joso

February 2024

No.14

● 目次 ●

- 男女共同参画社会に関する
市民・企業意識調査結果 …2 ページ
- 女性相談 …3 ページ
- 男女共同参画推進事業紹介
女性団体じょうそう事業委員会 …4 ページ



令和5年度写真で見える男女共同参画の取組

①「防災 2023JOSO」講演会 ②市内の高校へデートDV防止啓発講座を開催 ③ふるさとまつりにて「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発活動 ④豊田城をパープルライトアップ（「女性に対する暴力をなくす運動」）

ともに輝く未来へ

常総市長 神達 岳志



市民の皆様におかれましては日頃より男女共同参画行政につきまして、深い御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

近年、人口減少や少子高齢化社会、人生100年時代の到来を迎え、私たちを取り巻く社会構造は大きく変化しています。女性の社会進出が大きく期待され、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会を実現するためには、多様な働き方や生き方を認め合うことが一段と求められています。

令和4年10月に男女共同参画社会に関する意識調査を実施し、多くのご意見をいただきました。市民・企業の皆様の声をしっかりと受け止め、お互いが尊重し合い、ともに活躍・成長できる常総市とするために、より一層の推進に取り組んでまいります。

結びに、一人ひとりが輝ける男女共同参画社会を実現するために、今後とも、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

過去の紙面は、市HPにてご覧ください。



令和4年10月28日から11月12日まで、意識調査を実施しました。ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。この調査結果をもとに令和6年3月「第3次常総市男女共同参画計画」を策定し、男女共同参画社会の実現を目指します。

◎調査概要

	市民意識調査	企業意識調査
調査対象	市内在住の18歳以上の市民 1,500人(無作為抽出)	市内事業所125社
調査方法	郵送配布、郵送回収・ウェブ回答	
調査期間	令和4年10月28日～令和4年11月12日	
回収数	491人(回収率32.73%)	51社(回収率40.80%)

調査結果の見方

- * 設問の構成比は、回答者数(該当設問での該当者数)を基数として百分率(%)で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- * 比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

◎回答者の状況

市民意識調査の年齢構成

年齢別	人数	構成比(%)
18歳～19歳	5	1.0
20歳～29歳	31	6.3
30歳～39歳	45	9.2
40歳～49歳	76	15.5
50歳～59歳	68	13.8
60歳～69歳	108	22.0
70歳～79歳	116	23.6
80歳以上	36	7.3
無回答	6	1.2
合計	491	100.0

年齢構成は
60歳以上が
過半数を
占めています。

市民意識調査の男女比



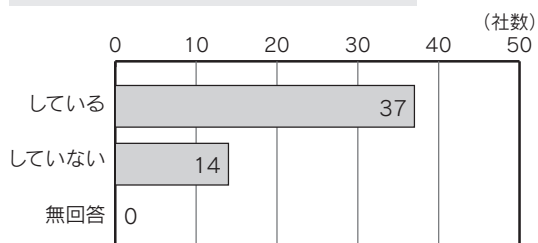
企業の規模

規模別	社数	構成比(%)
10人未満	4	7.8
10～29人	17	33.3
30～49人	11	21.6
50～99人	13	25.5
100人以上	6	11.8
無回答	0	0.0
合計	51	100.0

【企業意識調査】

◎ハラスメントについて

問. 貴事業所は、ハラスメントに対する取組をしていますか。



初めて企業向けのアンケートを実施しました。ご協力いただいた7割の企業でハラスメントに対する取組をしていると回答が得られました。

コラム

パワーハラスメントから自分を守るために

職場で、パワーハラスメント(以下、パワハラ)が起こる可能性は誰にとっても無視できません。しかし、被害にあった場合、多くの方がどのように対処すればよいのか悩むことでしょう。我慢していても解決しません。逆にエスカレートする可能性もあります。まずは、上司や社内相談窓口、あるいは、外部の相談窓口に相談しましょう。

また、パワハラを受けている人を見過ごすことは職場環境がますます悪化する恐れもあります。他人事ではなく、自分自身にも降りかかってくる可能性もあります。

自分を守り健全な職場環境を実現するために、誰かに相談する勇気を持つことが大切です。

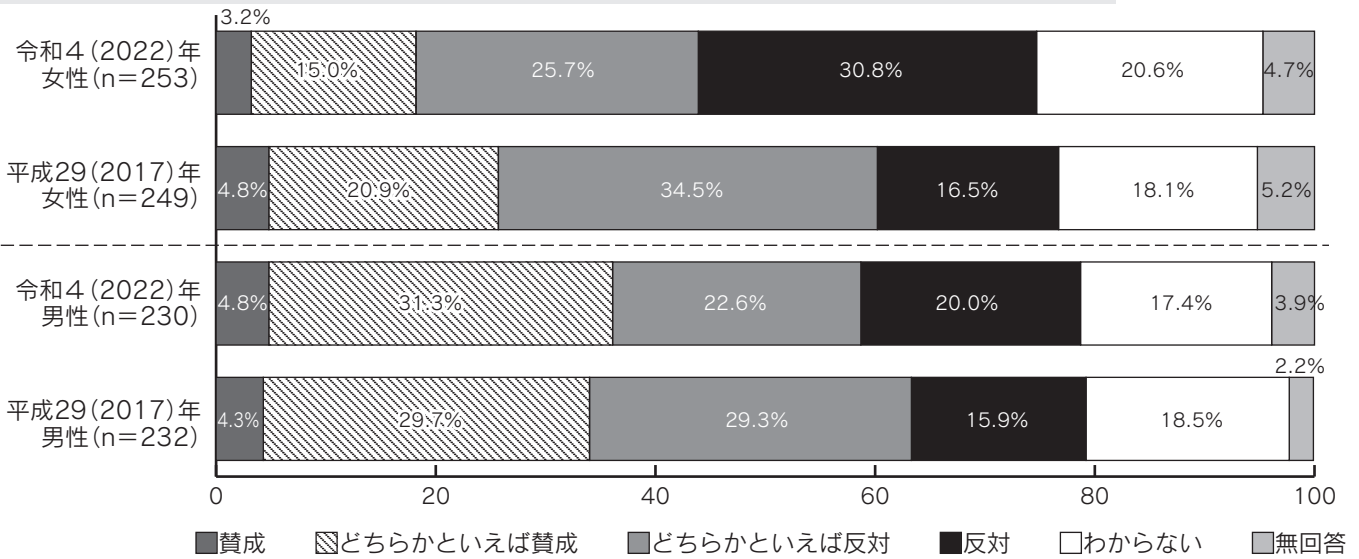


男女共同参画社会に関する市民・企業意識調査結果

【市民意識調査】

◎固定的役割分担意識について

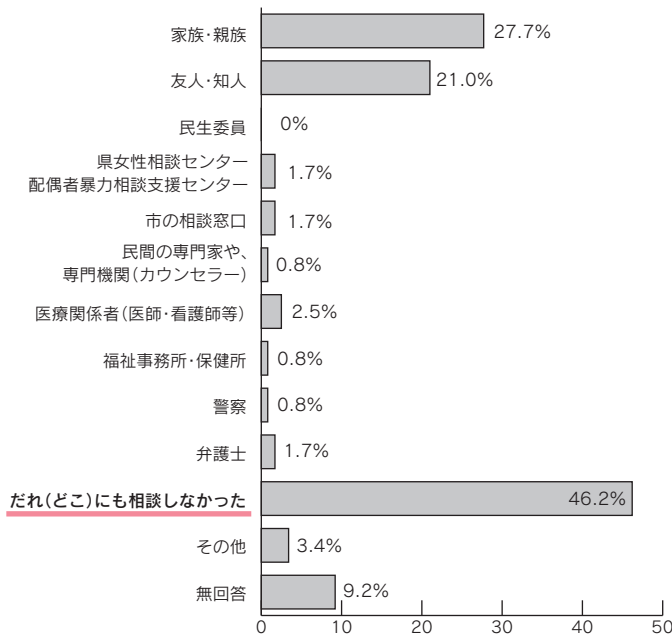
問. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との考え方についてあなたは、どう思いますか。



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に代表される固定的役割分担意識については、前回調査と比較すると男女ともに、「反対」と回答する割合は増えています。しかし、性別でみると令和4年度調査では「反対」と答えた女性は30.8%に対し男性は20.0%と、男性の固定的役割分担意識が依然として高い傾向にあるということが伺えます。

◎ドメスティック・バイオレンス(DV)について

問. あなたが、ドメスティック・バイオレンス(DV)の被害にあったとき、だれ(どこ)に相談しましたか。



もしも被害にあってしまったら・・・

DV(親密なパートナーからの暴力)は、殴る・蹴るなどの身体的な暴力だけでなく様々な暴力で相手を支配しようとする行為です。

あなたがDVで悩んでいるならば、勇気をだして身近な窓口にご相談してみましよう。詳細は市HPをご覧ください。

「だれ(どこ)にも相談しなかった」割合が最も多く、次いで「家族・親戚」、「友人・知人」と答える人が多い結果となりました。相談先として身近な人を選択するケースもある一方で、実際に被害にあった人の半数近くが、「だれ(どこ)にも相談しなかった」と回答していることから、問題を一人で抱えこんでしまう状況が伺えます。

女性相談

常総市では、女性の様々な悩みを臨床心理カウンセラーにご相談いただける機会をご用意しています。

秘密は厳守いたしますので、一人で悩まず、安心してご相談ください。(無料 電話相談可)

相談日：6・10・2月の第3火・日曜日 10時～12時 左記以外の月第3火曜日 10時～15時

相談時間：1回50分程度

お問合せ・お申込み先：0297(23)2111 内線2140

詳細は市HPをご覧ください⇒





男女共同参画推進セミナーを実施

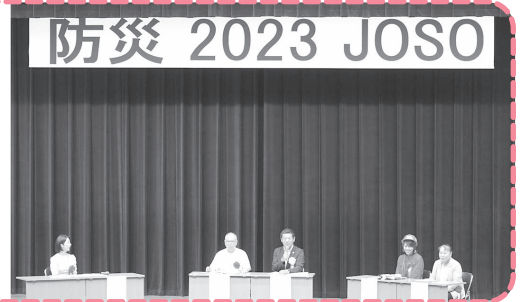
6/16

大塚製薬株式会社の西野栄作氏をお招きし、生涯を通じた女性ホルモンの変化についてご講演いただきました。参加者からは、「改めて食事・運動の大切さが実感できた。」「自分の若いころには聞けなかった話なので、ぜひ若い人たちにも聞いて欲しい。」とのお声をいただきました。

9/10

防災シンポジウムを開催

跡見学園女子大学の鍵屋一氏、NHK水戸放送局の保里小百合氏、常総市ふるさと大使の赤プル氏、常総市大水害「被災者の声」を記録する会副会長の染谷みどり氏を交えて講演後にパネルディスカッションを行いました。「とても分かりやすい講演でした。」「パネルディスカッションは、具体的な話を聞くことができ今後の参考になりました。」等、多くの学びを得られたと好評をいただきました。



パパと一緒に作ろう!ペーパークラフト教室を開催

12/17

TVチャンピオン「ペーパークラフト王選手権」でご活躍した大熊光男氏・酒井志保氏をお招きし、親子でクリスマスリース作りに挑戦!上手に切るコツを教えてもらいながら、みなさん一生懸命に制作に取り組んでいました。参加したご家族からは「うまく出来て満足です。」「世界で一番楽しかった!」等のご感想をいただきました。

10/16

市長を囲む会を開催

道の駅や AI まちづくり、子育て政策についてなど、幅広く市長から話を伺いました。参加者の皆様は熱心に耳を傾け、質疑応答では多様な意見が活発に取り交わされていました。アンケートでは、「様々な話を聞くことができ満足した。」「子育てについての話が聞けたので良かった。」等の意見をいただきました。



監事 稲葉 輝子氏
 会計 飯泉とみ子氏
 副会長 寺田由紀子氏
 会長 海老原和子氏
 副会長 坂巻 節子氏
 監事 中村 妙子氏

女性団体しようそ事業委員会は、市内で活躍する女性団体の代表者や個人会員の方で構成される団体です。当市における男女共同参画の推進において、多岐にわたる活動・ご協力をいただいています。

皆様には、日頃より当会の活動にご協力いただきましてありがとうございます。
 これまで様々な男女共同参画推進活動を実施してまいりましたが、多様性の時代となり、現在は一人ひとりが尊重しあい楽しく生活することが望まれています。SDGsの考えに「パートナーシップで目標を現実しよう」という考えがあるようです。これからも会員の皆様と共に男女共同参画推進活動を実施してまいりますので、ご参加ご協力をお願いいたします。

会長挨拶
 女性団体しようそ事業委員会
 会長 海老原 和子氏

「変化する男女共同参画社会の中で」

女性団体しようそ事業委員会

発行日
 令和6年
 2月8日
 (木)

編集・発行

常総市 市民生活部人権推進課
 〒303-8501 常総市水海道諏訪町3222番地3
 ☎ 0297-23-2111(代表)



編集協力

女性団体しようそ事業委員会